



5～6月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

ビーフピア in くりやま

5月3日(金・祝)、日蔭の月山特設会場で、ビーフピア in くりやまが開催されました。五月晴れとなったこの日、400名の参加者は、新緑とピンクのヤシオツツジの咲く月山を目前に眺めながら、栃木県産牛肉に舌鼓。子ども連れの参加者も多く、大自然の中でのバーベキューに笑顔が広がりました。



お孫さんと3世代でバーベキューを楽しむ宇都宮市の吉羽さんご家族

遊びに挑戦！ ランキング大会

5月11日(土)、大沢公民館で初の遊びの大会が開催されました。大会は、輪投げやお手玉、こま回しなど10種目を得点化し、幼児・小学生・大人の部に分かれ、それぞれ順位を決めるもの。割り箸ダーツやメンコなど、ユニークな種目もあり、参加した22名は時間を忘れて楽しんでいました。フィルムケース立てと、どんぐ

り移しの2つの種目で優勝した村上斗真くん(大室小5年)は、「こま回しが最初、難しかったけれど、楽しかった。また挑戦したい」と照れくさそうに話してくれました。主催した市レクリエーション協会の篠原幹男会長は、「皆さんに楽しんでいただけたと思います。次回は参加者ももっと増えるとうれいですね」と話していました。



おはじきって案外ムズカシイ...



フィルムケースを積み上げる村上くん



みんな真剣！ けん玉に挑戦

湯立神事

5月15日(水)、弘仁11(820)年に弘法大師空海が清瀧神社を創建して以来伝承されている、湯立神事が行われました。これは、神職が熱湯を浴びて心身を浄化し、地域住民の無病息災を祈願する、全国でも珍しい神事です。舞台の周りでは、氏子や関係者、清滝小学校の児童たちが神事を見守っていました。



すくい上げた熱湯が周囲に飛び散る迫力！

日本酒&そばガーデン

5月18日(土)・19日(日)、ニコニコ本陣の多目的広場で、日本酒&そばガーデンが開催されました。18日の「日光の地酒利き酒大会」では、35名の参加者が、あらかじめ飲んだ日本酒を当てるルールで、市内の酒蔵が作った4種のお酒を飲み比べました。19日の「第2回手打ちそば朝食世界選手権大会」では、55名の

参加者が、ゆでたてのもりそば3人前(450グラム)の朝食に挑み、完食タイムの速さを競いました。朝食に挑戦した、ハワイ出身で市内在住のケーシーさんは「大勢の人に見られている中で緊張しました。初めての体験ができて楽しかったです」と話してくれました。



真剣な表情で利き酒をする参加者



そばを勢いよく口に運びます



10年ぶりに優勝した木森康晴さん



日光東照宮 春季例大祭



人馬一体となった妙技

5月17日(金)・18日(土)、日光東照宮春季例大祭が開催されました。

17日の「流鏑馬神事」は、鎌倉時代から続く古儀にならい、10名の射手が馬上から弓矢で3枚の的を射抜く技を披露しました。栃木市の赤間さんは「初めて来ました。凄いスピードで走る馬の上から弓矢を射る技術は、日々の鍛錬のたまものですね。すばらしかったです」と話してくれました。

また、18日には、百物揃千人武者行列が行われ、鎧武者などに扮した1,200名が参道を華やかに練り歩きました。



参道を彩る豪華絢爛な時代絵巻



巫女による浦安の舞



一生懸命、苗を植える中山くん

5月25日(土)、森友瀧尾神社で「おお杉御田植祭」が行われました。御神田に田植えをし、五穀豊穡などを祈願する祭りで、御神田の中央に高さ15mのおお杉を立てた舞台が組まれ、田植えの間、巫女による浦安の舞や、民謡瑞豊会による田植歌などが奉納されました。田植えに参加した大室小2年の中山莞永くんは「最初は足が埋



おお杉と舞台

まっちゃったけど、慣れたら簡単だった。また来年もやりたいです」と話してくれました。

日光おお杉御田植祭

おたうえさい

延年舞

えんねんのまい



力強い足音が室内に響き渡る

5月17日(金)、日光山輪王寺で延年舞が行われました。延年舞は848年に慈覚大師円仁が日光山に伝えたといわれ、2名の舞衆が緋色の直垂と白い袴で、三仏堂内に設置された檜舞台で舞います。アメリカのカリフォルニア州から訪れたウッドハウスさん夫妻は「荘厳な感じに伝統を強く感じました」と話してくれました。

日光だいいくまつり



南部神楽「五条夕橋」で牛若丸を待ち受ける弁慶

6月1日(土)・2日(日)、日光二荒山神社でだいいくまつりが開催されました。だいいく様は神社の主祭神の大己貴命の呼び名で、昔から親しまれており、毎年6月初旬の土曜・日曜日に縁日が開かれます。境内には地酒や特産品、バザーなどが出店され、1日は神楽殿で南部神楽の奉納があり、大勢の参拝者が見入っていました。